



令和2年12月の自殺者数は、前月比では、北海道、全国、全国（男性）、全国（女性）において減少でした。都道府県別では、自殺者数が増加したのは16、減少したのは28、変化なしは3でした。

## 2. 令和2年12月末と令和元年12月末の月別自殺者数の比較

-----  
 令和2年12月<北海道 68人、全国 1,694人、全国(男性)1,102人、全国(女性) 592人>  
 令和元年12月<北海道 67人、全国 1,494人、全国(男性)1,035人、全国(女性) 459人>  
 前年比 <北海道 +1人、全国 +200人、全国(男性) +67人、全国(女性)+133人>  
 -----

前年同月比では、北海道、全国、全国（男性）、全国（女性）において増加でした。また、都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは32、減少したのは15、増減なしは0でした。

### ◇警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等（令和2年速報値）[警察庁]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

令和3年1月22日、「警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」にて、令和2年中の自殺者数速報値集計が公表されました。その中から、今回は全国及び北海道の令和2年中の自殺者数について概観したいと思います。後日確定値が出ましたら、あらためてご報告します。

#### 1. 令和2年と令和元年の北海道と全国の年間自殺者数 (単位：人)

	北海道	全国	全国（男性）	全国（女性）
令和2年（速報値）	926	20,919	13,943	6,976
令和元年（確定値）	971	20,169	14,078	6,091
前年比	-45	+750	-135	+885

令和2年中の自殺者数は、前年に比べ、全国、全国（女性）において増加、北海道、全国（男性）において減少しました。都道府県別でみると、増加は29、減少は17、増減なしは1でした。

#### 2. 令和2年と令和元年の全国における月別自殺者数 (単位：人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
令和2年（速報値）	1,680	1,454	1,751	1,504	1,585	1,570
令和元年（確定値）	1,684	1,615	1,856	1,814	1,853	1,640
前年比	-4	-161	-105	-310	-268	-70

  

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
--	----	----	----	-----	-----	-----



全体	27,215 (21.4)	25,418 (20.0)	23,964 (18.9)	21,870 (17.2)
中高年	11,468 (26.5)	10,511 (24.5)	9,898 (23.1)	9,024 (21.2)
	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	
全体	21,286 (16.8)	20,820 (16.5)	19,974 (15.8)	
中高年	8,726 (20.5)	8,480 (19.8)	8,206 (19.4)	

## 2. 中高年における自殺の原因・動機について

平成 21 年以降の中高年の原因・動機の推移をみると、経済・生活問題は、自殺者数の減少に比して、急激な減少を見せており、令和元年は平成 21 年の約 3 分の 1 程度となっています。次いで、健康問題も、令和元年は平成 21 年より約 4 割減少しています。一方、これら以外の原因・動機は、減少傾向にはあるものの、経済・生活問題や健康問題と比べて減少幅は小さくなく、また、ここ数年は、家庭問題は 1,000 人台前半、勤務問題は 1,000～1,100 人、その他は 300 人台後半、男女問題は 200 人台前半で、横ばいで推移しています。

原因・動機について小分類で見ると、中高年男性全体では、第 1 位が「病気の悩み・影響（うつ病）」、第 2 位が「病気の悩み（身体の病気）」、第 3 位が「生活苦」、第 4 位が「負債（多重債務）」、第 5 位が「負債（その他）」となり、健康問題が上位を占めています。項目数では、上位 10 位のうち、経済・生活問題が 6 項目、健康問題が 3 項目、家庭問題が 1 項目となり、経済・生活問題の多いことが男性の特徴といえます。中高年女性全体では、第 1 位が「病気の悩み・影響（うつ病）」、第 2 位が「病気の悩み（身体の病気）」、第 3 位が「病気の悩み（統合失調症）」、第 4 位が「病気の悩み（その他の精神疾患）」、第 5 位が「夫婦関係の不和」となり、健康問題が上位を占めていますが、項目数では上位 10 位のうち、家庭問題が 5 項目、健康問題が 4 項目、経済・生活問題が 1 項目となり、家庭問題の多いことが女性の特徴となっています。

(単位：人)

	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
家庭問題	1,854	2,027	2,097	1,835	1,705	1,561
健康問題	6,401	6,506	6,093	5,516	5,416	5,137
経済・生活問題	5,689	4,974	4,189	3,337	2,836	2,458
勤務問題	1,321	1,407	1,354	1,258	1,224	1,169
男女問題	291	297	328	309	242	255
学校問題	1	0	3	5	0	1
その他	596	626	598	547	535	467

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
家庭問題	1,531	1,440	1,408	1,343	1,315
健康問題	4,790	4,297	4,214	4,077	3,736
経済・生活問題	2,355	2,069	1,961	1,977	1,942
勤務問題	1,075	1,037	1,066	1,071	1,060

男女問題	234	222	256	220	226
学校問題	1	0	2	0	1
その他	469	388	392	341	373

本書によると、10代を除く全ての年齢階級で自殺者数が減少する状況にあり、20代及び30代については自殺者が急増した平成10年より前の水準に戻った状況に対し、40代以上の年齢階級については急増した平成10年より前の水準を下回る水準まで減少しており、近年の自殺者の大幅な減少に寄与しているとされています。また、中高年に関する分析のまとめ、今後の取組として以下のように述べられています。

「中高年については、経済・生活問題による自殺が多いことから、経営者に対する経営相談、融資、雇用維持のための助成、失業者に対する就職支援、多重債務の相談やセーフティネット融資、生活困窮者に対する支援、法的問題のための相談等の各種支援策を引き続き充実させていくとともに、支援を必要としている人にこうした支援策の情報が届くよう情報発信をしていくことが必要である。特に、令和2年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校の休校、緊急事態宣言による活動自粛要請が行われ、収入の減少、事業不振、雇用不安等の影響があったところであり、政府においては、数次にわたる緊急対応策や補正予算により、事業者に対する融資、雇用維持の支援、緊急小口融資等の支援策を講じてきた。また、支援を必要とする人にこれらの支援策の情報が届くよう、「支援情報ナビ」等により情報発信を行ってきた。新型コロナウイルス感染症拡大の第2派、第3派とそれによる経済への影響の可能性があるが、こうした取組を着実に進めていくことが必要である。また、中高年については勤務問題を原因・動機とするものも多いことから、長時間労働の是正、職場のメンタルヘルス対策、ハラスメント対策を一層推進していくことが重要である。前期高齢者についても継続雇用制度の整備等により被雇用者・勤め人が増えており、同様の対策が重要である。中高年の女性については子育ての悩みや介護・看護疲れによる自殺も多いが、家事や育児の負担が女性に偏っている状況が影響していることが考えられる。育児や家族介護に対する支援策を一層推進していくとともに、男性の育児・家事参加を進めていくことが重要である。」

今号は、「第2章 自殺対策の基本的な枠組みと中高年、高齢者の自殺をめぐる状況」の中の「第二節 中高年層における自殺をめぐる状況」についてご紹介しました。次号は、「第三節 前期高齢者層における自殺をめぐる状況」についてご紹介したいと思います。興味のある方は是非楽しみにお待ちしております。

#### 参考文献

厚生労働省、『令和2年版 自殺対策白書』、2020

#### 【3】お知らせ.....

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日	9:00～21:00
土曜日曜祝日（12月29日～1月3日を除く）	10:00～16:00

Tel : 0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターの HP を開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。また、Andante のバックナンバーへのリンクもございますので是非ご覧ください。

パソコン HP URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

また、携帯電話で見ることができる携帯版 HP も開設しています。警察庁および北海道警察から公表された統計資料をもとに、北海道における自殺の状況を掲載しています。こちらも併せてご覧ください。

携帯 HP URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm>

【4】編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

新年明けましておめでとうございます。

今年も皆様にとって有益な情報をお届けできるよう努力してきたいと思えます。

昨年の全国の自殺者数は、警察庁「自殺統計」の速報値によると、平成 21 年以来の前年比増加という形となりました。その理由は女性の自殺者数の増加となっています。新型コロナウイルスとの関係は明確にされていませんが、関連付けて考えている意見を見ますと、非正規職員の雇い止めやステイホームによる心身への負担、これがより女性への影響が大きかったのではないかとされています。北海道については前年比減少となりましたが、上半期の減少が大きく、下半期に限定してみると全国同様増加となっており、注意が必要です。

不安や疲れによるストレス状態が長く続くと、体や考え方に影響が出ることは多くの方に起こる正常な反応です。その時は、大事に至る前に、然るべき相談機関や電話相談などを頼って頂きたいと思えます。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.140 は、令和 3 年 2 月末に配信予定です。

\*お問い合わせ先\*

北海道立精神保健福祉センター

札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail [hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp)